

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	02-01-08	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	庁舎等資源再利用推進事業	部課名	管理部経理課	課長名	三枝	担当者名	石田
				内線	2252		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-01	庁舎資源再利用事業費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	2年度	根拠法令等	東京都「大規模建物における事業系廃棄物に関する指導要綱」		
終期設定	有	無	年度				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	地球環境に配慮した循環型社会づくりを目指し、庁舎や区施設から発生する資源ごみを分別・収集し、資源の節約やごみの減量を図る。						
対象者等	本庁舎及び区施設利用者						
内容	<p>本庁舎や各種の区施設に資源回収容器（リサイクルボックス等）を設置し、紙・空缶・空びん・ペットボトル・乾電池を分別回収している。</p> <p>資源回収容器設置施設...本庁舎、北庁舎、区立幼稚園、区立小・中学校、図書館、区民事務所、ひろば館、ふれあい館、福祉施設など134施設</p>						
経過	<p>平成2年 8月...庁舎内に資源回収容器（リサイクルボックス等）を設置し、紙・空缶・空びん・乾電池の分別回収開始</p> <p>平成3年 4月...庁舎外の区施設127か所に拡大。各施設において資源ごみを分別し、回収・選別等を業者委託により実施</p> <p>平成3年10月...東京都が「大規模建物における事業系廃棄物に関する指導要綱」を策定。ごみの発生抑制と再利用・資源化を促進するため、事業者には「計画の作成」と「実績の報告」を義務付け、事業者の責任をより明確化</p> <p>平成10年4月...ペットボトルの回収（区施設のみ）を開始</p> <p>平成12年1月...全庁舎に資源・廃棄物のさらなる分別収集を徹底するため、マニュアル「資源・廃棄物の分別収集」を作成し配付。庁舎内のペットボトルの回収を開始</p>						
必要性	地球環境の保護や循環型社会づくりの推進のため、区は事業者として、率先してリサイクル活動に取り組む必要がある。						
実施方法	<p>（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>資源ごみの回収・選別等の業務を業者に委託して実施</p> <p><平成26年度> 資源再利用処理委託...相手方：荒川区リサイクル事業協同組合、契約金額：5,400,702円</p>						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	6,635	6,813	6,848	6,848	6,514	6,179	5,981	
決算額（26年度は見込み）	5,662	5,192	5,101	5,435	5,355	5,001	5,981	
人件費等	2,312	2,526	2,826	1,241	413	416		
減価償却費			2,324	1,089	161	169		
【事務分担量】（%）	70	70	80	5	5	5		
合計（+ +）	7,974	7,718	10,251	7,765	5,929	5,586	5,981	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	7,974	7,718	10,251	7,765	5,929	5,586	5,981	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
紙類 (kg)	265960	296765	301895	295665	328940	318350		
空缶 (kg)	11266	10855	10320	9736	9294	8914		
空ビン (kg)	5899	5515	5032	4763	4552	4577		
ペットボトル (kg)	8810	7485	7415	6980	6995	8030		

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
一般需用費	消耗品費（ポリ袋）	133	委託料	回収・資源化業務	4,868	委託料	回収・資源化業務	5,833
委託料	回収・資源化業務	5,222	需用費	消耗品費（ポリ袋）	133	需用費	消耗品費（ポリ袋）	148

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	本庁舎の全廃棄物に占める再利用率(%)	65.2	64.5	70.7	70.0	70.0	庁舎での資源÷全廃棄物（資源を含む）

（問題点・課題分析）	25年度は本庁舎における資源の再利用率が目標値を達成したが、ごみの分別やりサイクルボックスの利用方法が乱れがちであるため、職員への周知が必要である。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
庶務主管課長会等の機会を捉えて周知・啓発を行い、リサイクルへの取組みに関する職員の意識を醸成する。	ごみの分別やりサイクルについて、引き続き職員の意識啓発を図っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	現状の規模で実施する。

議（要旨）	況問状
-------	-----

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-01-01	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	環境審議会		部課名	環境清掃部環境課	課長名	泉谷	
			担当者名	佐々木	内線	486	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-02	環境審議会運営費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	21年度	根拠法令等	荒川区環境基本条例・荒川区環境審議会規則		
終期設定	有	無	年度				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	荒川区環境基本条例に基づき、その適正な執行を図るとともに条例の基本的事項を調査審議を行うことを目的とする。						
対象者等	区・区民・事業者等						
内容	<p>開催実績：平成21年度 1回/平成22年度 2回/平成23年度 0回/平成24年度 2回/平成25年度 1回</p> <p>審議内容：「荒川区の環境」について、「低炭素地域づくり計画」の策定、「環境基本計画」の一部改訂、東尾久浄化センター隣接敷地内ダイオキシン類対策について</p> <p>構成員：16名 学識経験者2名・区議会議員4名・区民5名・事業者2名 関係行政機関2名・区職員1名</p>						
経過	<p>荒川区環境基本条例（平成21年1月1日施行）に基づき設置。</p> <p>区の環境の保全に関し、基本的事項を調査審議するため、環境基本法（平成5年法律第91号）第44条の規定に基づき、区長の附属機関として、荒川区環境審議会（以下「審議会」という。）を置く。</p> <p>2 審議会は、区長の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。</p> <p>（1）環境基本計画に関すること。</p> <p>（2）前号に掲げるもののほか、環境の保全に関する重要な事項</p> <p>3 審議会は、環境の保全に関する重要な事項について、区長に意見を述べるができる。</p> <p>4 審議会は、環境の保全について学識経験を有する者、区議会議員、区民、事業者等のうちから、区長が委嘱し、又は任命する委員16人以内をもって組織する。</p> <p>5 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。（条例第20条より抜粋）</p>						
必要性	地球温暖化やヒートアイランド現象など深刻な環境問題を改善し、将来の世代へより良い環境を引き継ぐ環境先進都市あらかわを実現するためには、区民・事業者・学識経験者・区が一体となって取り組むことが重要であり本事業の必要性は高い。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）						

（単位：千円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算・決算額等の推移	予算額		984	978	636	577	574	581
	決算額（26年度は見込み）		149	239	0	282	133	581
	人件費等		26,877	1,448	1,407	1,375	1,392	
	減価償却費			581	622	645	676	
	【事務分担量】（%）			400	20	20	20	20
	合計（+ +）		0	27,026	2,268	2,029	2,302	2,201
特定財源	国							
	都							
一般財源	その他							
	一般財源	0	27,026	2,268	2,029	2,302	2,201	581
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	環境審議会（回）		1	2	0	2	1	1

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委員報酬	審査会委員報酬	215	報酬	審査会委員報酬	104	報酬	審査会委員報酬	434
特別旅費	委員会出席者旅費	7	役務費	会議テーブル反訳	26	役務費	会議テーブル反訳	107
食糧費	審査会賄い（お茶等）	0	旅費	委員会出席者旅費	3	使用料等	会場使用料	19
役務費	会議テーブル反訳	60	需用費	審査会賄い（お茶等）	1	旅費	委員会出席者旅費	15
使用料及び賃借料	会場使用料	0	使用料等	会場使用料	0	需用費	審査会賄い（お茶等）	6

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	

（問題点・課題分析）	任期中に特段の議題がなかったときには、「荒川区の環境」についての現況報告等を定期的（隔年程度）行うなどして、審議会の活性化を図る。
他区の実況	（実施 15 区 未実施 7 区 不明 0 区） 実施区：世田谷・杉並・練馬・中野・新宿・目黒・大田・足立・江東・北・豊島・墨田・港・中央・板橋 未実施区：千代田・文京・台東・品川・渋谷・葛飾・江戸川 未実施であっても、「区民会議」や「温暖化対策協議会」等の形で実施している区が多数。

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	審議会において活発な議論がなされるよう、議題・報告内容等の工夫を図っていく。	現在の委員の任期2年目にあたり、27年10月に委員全員の改選年度となるため、適任者の選任及び委嘱を行う。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	現状の規模で実施する。

議 会 質 問 状 （要 旨）	
--------------------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-01-03	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	環境推進		部課名	環境清掃部環境課	課長名	泉谷	
			担当者名	海老沼	内線	482	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-03-01	環境推進事務費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	4 年度	根拠	環境基本法、荒川区環境基本計画 他			
終期設定	有 無	年度	法令等				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画		
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	区民一人ひとりの日常生活における環境への負荷を軽減し、循環型社会づくりを進めるため、区民・事業者と環境問題に協働して取り組み、環境保全意識の普及・啓発を図るとともに、区は区内最大の事業者として率先行動に努める。						
対象者等	区民、区内事業者、環境団体、環境関連事業者						
内容	<p>1 計画 「荒川区環境基本計画」の他、区民、事業者、区の環境の取り組みを定めた「荒川区低炭素地域づくり計画」、区の率先行動を定めた「荒川区役所環境配慮率先行動プラン」等に基づき、以下の取り組みを行っている。</p> <p>2 普及・啓発事業 環境月間（6月）事業（環境・清掃フェア、環境展等）の実施、小中学生対象のエコポスター・エコ標語コンクールの開催、エコフレンドやあらかわ環境サポーターなど区民団体の環境活動支援、環境に関する講座・研修会などの開催（エコセミナー、緑のカーテン講習会、夏休みエコ教室、自然観察会など）地球を守る区民会議の開催 その他節電・省エネに関する事業の実施（「エコライフチャレンジファミリー」事業、街なか避暑地、節電マイレージ等）エコ人材バンクの実施</p> <p>3 区の環境配慮率先行動 区役所の省エネルギーの推進 省資源・リサイクルの推進 建築物の環境配慮の推進 環境意識の向上 エコアクション21認証</p> <p>4 本部組織の運営 荒川区環境先進都市推進本部の開催</p>						
経過	<p>1 計画 「荒川区環境基本計画」平成16年度策定 平成24年度改定、「荒川区役所環境配慮率先行動プラン」平成20年度策定 平成25年度改定、「荒川区低炭素地域づくり計画」平成22年度策定</p> <p>2 啓発事業 環境・清掃フェアを平成4年度から実施 エコポスター・エコ標語コンクール（ポスターは平成7年度、標語は平成9年度から実施） 区民活動支援 あらかわエコフレンド、あらかわ環境サポーターなどの活動に対して支援 環境に関する研修会は、平成16年度より、まなぼー教室開催、平成24年度より、あらかわエコセミナーとして開催 環境情報の発信：環境情報誌の発行、エコセンターホームページ開設、ツイッター開始 地球を守る区民会議 平成18年8月設置、25年度は2回開催</p> <p>3 率先行動 平成13年「荒川区グリーン購入推進方針・調達方針」策定、平成17年「エコアクション21（環境評価プログラム）」認証、登録、平成19年「環境先進都市推進本部」設置、平成23年「荒川区公共施設環境配慮指針」策定 平成24年改定、「荒川区役所環境配慮率先行動プラン」平成25年度改定</p>						
必要性	地球温暖化・ヒートアイランド現象等の理解を深め、区民が環境負荷軽減の行動することが一層重要になっている。区民との協働を推進するための普及啓発活動は不可欠であり、必要性は高い。また、環境を配慮した行動を区が率先して実施し、区民、事業者の環境配慮行動を促す必要がある。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	7,399	10,703	8,945	16,451	14,780	13,065	12,920	
決算額（26年度は見込み）	4,816	7,125	7,194	13,860	13,300	9,059	12,920	
人件費等			36,975	41,336	25,681	47,465		
減価償却費			19,609	31,567	22,267	27,446		
【事務分担量】（%）	140	310	675	725	690	812		
合計（+ +）	4,816	7,125	63,778	86,763	61,248	83,970	12,920	
特定財源								
国								
都	0	0	0	0	0			
その他								
一般財源	4,816	7,125	63,778	86,763	61,248	83,970	12,920	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	環境・清掃フェア入場者数（人）	13,500	15,000	12,000	10,000	10,000	9,000	9,000
	エコポスター・標語応募者数（点）	2,662	2,891	3,734	3,728	4,162	4,166	
	あらかわエコセミナー（回）	9	6	6	6	5	5	
	その他環境に関する講座（回）	5	17	20	26	47	30	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	環境に関する事業・講座	307	委託料	フェア設置委託、省エネシステム保守委託	4,459	需用費	環境フェア、エコポスター消耗品	5,687
旅費		0	需用費	環境フェア、エコポスター消耗品	3,345	委託料	フェア設置委託、省エネシステム保守委託	5,193
食糧費	街なか避暑地食糧、区民会議等賄い	266	役務費	E A 2 1 審査料、ボランティア保険等	894	報償費	環境に関する事業・講座	770
一般需用費	環境フェア、エコポスター記念品等	4,534	報償費	環境に関する事業・講座	246	役務費	E A 2 1 審査料、ボランティア保険等	757
委託料	フェア設置委託、省エネ管理システム導入	7,201	使用料等	会場使用料	78	負担金補助等	E A 2 1 取得助成、エコ検定助成	418
役務費	E A 2 1 審査料、ボランティア保険ほか	693	負担金補助等	エコ検定助成	38	使用料等	会場使用料	95
使用料及び賃借料	会場使用料	94						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	環境に関する講座の参加者数 (人)	1,338	1,380	1,622	1,800	2,000	
	区施設全体温室効果ガス排出量 (百 t - CO2)	143	154	153	153	152	「荒川区役所環境配慮率先行動 プラン」に基づく

（問題点・課題 分析）	1 平成25年度は、若年層を対象とした講座を実施した結果、新たな参加者が多数参加した。しかし、全体としては環境問題に関する各種講座の参加者が固定化する傾向がある。
	2 区民の積極的な環境配慮行動を広げるため、環境サポーターやエコフレンドなどのグループの活動に対し、講師派遣や情報提供を行うなど、区が支援する必要がある。
	3 平成25年度に職員が自主的に環境監査を行う「内部環境監査」を実施し職員の意識を高めることができた。さらにエコアクションへの取り組みをなお一層促進する必要がある。
他区の実 状況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
親子で参加できる環境講座や若い世代が参加したくなる講座など、多くの区民に参加してもらえるように更なる工夫を継続して行う。	26年度の改善内容を踏まえて、更なる工夫を継続して検討する。
区民と区が一丸となって環境活動を推進することができるようより良い連携形態をつくる。	継続して、区民と区が一丸となって環境活動を推進することができるようより良い連携形態をつくる。
システムを活用した、職員への情報提供の充実を図る。また、区独自の環境管理システムを検討する。	区独自の環境管理システムを活用し、区の環境配慮行動を推進や職員への情報提供の充実を図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	様々な取り組みにより、荒川区の環境負荷の軽減を推進し、環境先進都市の実現を図る。

議 会 質 問 状 （ 要 旨 ）	
---	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-01-05	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	環境区民大賞運営事業		部課名	環境清掃部環境課	課長名	泉谷	
			担当者名	山口	内線	483	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-03-03	環境区民大賞運営費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	23年度	根拠法令等	荒川区環境基本条例、荒川区まちの環境美化条例		
終期設定	有	無	年度				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	区民の環境意識の向上とともに、様々な環境に関わる活動が実践されているが、更なる環境活動の促進を誘発するための動機付けとし、新たな「環境区民」の育成につなげることを目的とする。						
対象者等	区民・事業者及び団体等						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区内における環境活動をさらに推進するため、日頃から積極的に環境保全や環境推進に関わる活動を行っている区民を顕彰するものである。 ・環境基本計画においても、顕彰制度を創設して行うべきとの考えがあることから、環境推進部門においては、事業活動において省エネルギー対策や環境配慮などに積極的に取り組んでいる者など、環境負荷を減らす暮らし方をしている者等を想定している。 ・顕彰対象部門 環境に配慮した活動部門、まちの環境美化推進部門 						
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成9年度から荒川区まちの環境美化条例に従い、献身的に地域美化活動を行っている区民に対し、環境美化大賞という顕彰制度を設け、表彰し意識啓発を行ってきた。 ・平成23年度、環境基本計画に基づき、良好な環境推進に貢献する個人及び団体等を表彰するとともに、これまでの環境美化大賞も加え、環境に関する総合的な新たな顕彰制度として、環境区民大賞を設置した。 ・平成25年度より、『環境に配慮した活動部門』および『まちの環境美化推進部門』の二部門。 ・平成25年度表彰は、平成26年6月1日開催の環境・清掃フェアあらかわ開会式の中で実施した。（従来はサンパール荒川で開催） 						
必要性	環境先進都市の実現に向けて、区民・事業者の様々な環境への取組を顕彰することにより、さらなる環境推進に寄与するものであり、必要性は高い。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 環境区民大賞顕彰要領の評価表に従い、最も高評価の者に対し、2つの各部門ごとに個人・事業者1、1団体に授与する。対象に至らなくとも高く評価できる活動に対しては、奨励賞を授与する。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額				413	374	369	314	
決算額（26年度は見込み）				259	279	0	314	
人件費等				2,677	3,304	3,327		
減価償却費				3,266	1,291	1,352		
【事務分担量】（%）				105	40	40		
合計（+ +）	0	0	0	6,202	4,874	4,679	314	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	0	0	0	6,202	4,874	4,679	314	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
環境区民大賞（個人）				2	3	3		
環境区民大賞（団体）				5	6	4		

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
食糧費	表彰式賄い	22	食糧費	表彰式賄い	0	食糧費	表彰式賄い	24
一般需用費	受賞者記念品	125	需用費	受賞者記念品	0	需用費	受賞者記念品	124
役務費	賞状等筆耕	28	役務費	賞状等筆耕	0	役務費	賞状等筆耕	52
委託料	表彰式会場設営	91	委託料	表彰式会場設営	0	委託料	表彰式会場設営	97
使用料及び賃借料	表彰式会場付帯設備	13	使用料等	表彰式会場付帯設備	0	使用料等	表彰式会場付帯設備	17

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	区民大賞応募者数 (個人・団体)	9	9	7	10	15	

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> 環境区民大賞は区報、ツイッター、CATV、町会等周知を行っているが、応募者数が少なかった。今後、いかに環境区民大賞を区民・事業者等へ周知し、応募を増やしていくか課題である。 環境区民大賞に該当するような個人・事業者についての情報が不足している。
	(実施 5 区 未実施 17 区 不明 0 区) 台東区(環境MVP) 品川区(しながわ環境大賞) 世田谷区(世田谷エコチャレンジ) 板橋区(エコポリス板橋環境活動大賞) 豊島区(さわやかな街づくり推進団体表彰)

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	25年度の実施を踏まえて、周知方法、募集方法等について引き続き検討する。	周知方法、募集方法等について、さらに検討を行う。(町会連合会へ推薦依頼等)
	関係部署、関連団体から広く情報収集していく。	評価基準の見直しを行っていく。
	環境・清掃フェアあらかわ開会式の中で表彰式を実施(従来はサンパル荒川で実施)	引き続き、環境・清掃フェアあらかわ開会式にて表彰式を実施する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
改善・見直し	継続	環境区民を醸成するため、環境活動に多大な貢献をしている方を顕彰する取組を継続して行う。事業の実施方法は、状況に応じて改善を図る。

議 会 要 旨 状	
-----------------------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-01-06	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	地球温暖化・ヒートアイランド対策優先事業	部課名	環境清掃部環境課	課長名	泉谷	担当者名	山口・白石
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-04-01	地球温暖化・ヒートアイランド対策推進費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	18年度	根拠法令等	地球温暖化防止対策の推進に関する法律、荒川区環境基本計画ほか		
終期設定	有	無	年度	計画区分	計画	非計画	
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準			
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	区民及び事業者が、住宅や事業所等に太陽光発電システム等を設置・施工した場合の費用の一部を助成することで、地球温暖化の防止やヒートアイランド対策を促進する。 また、打ち水を区内で一斉に実施し、区民によるヒートアイランド対策を推進する。						
対象者等	区民・事業者、区施設						
内容	1 エコ助成制度（25年度実績） （1）家庭用燃料電池設置助成（54件）（2）太陽光発電システム設置助成（21件）（3）太陽光発電システム設置助成（荒川区街なかメガソーラー登録）（42件）（4）ガスエンジン給湯器設置助成（1件）（5）雨水貯水槽設置助成（1件）（6）家庭用蓄電システム設置助成（平成25年度から助成開始3件） 2 打ち水（25年度実績） 節電対策として、「打ち水&ウォーターフェスティバル」として実施 （1）実施日時 平成25年7月27日（日）午前10時から正午まで （2）実施場所 日暮里駅前イベント広場 （3）参加者 約150人 3 北庁舎駐車場の芝生化						
経過	平成17年9月 二峡小へ燃料電池装置の設置（学校の環境学習推進事業） 平成18年5月 エコ助成金交付制度創設（家庭用燃料電池、太陽光発電システム機器、遮熱性塗装） 7月 区施設への対策技術導入事業のうち、遮熱性塗装施工をあらかじめ遊園内で実施 8月 あらかわ打ち水クール作戦実施 平成19年3月 区施設への対策技術導入事業のうち、芝生の駐車場設置を区役所北庁舎駐車場で実施 5月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（屋上・壁面緑化助成を追加） 12月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（ガスエンジン給湯器助成を追加） 平成20年5月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（雨水貯水槽助成を追加） 平成22年4月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（5項目追加） 平成24年4月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（街なかメガソーラー項目の追加他） 平成25年4月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（家庭用蓄電システム助成の追加）						
必要性	・再生可能エネルギー関連設備導入の区民・事業者の取り組みを推進するためにエコ助成金の必要性は高い。 ・打ち水に関しては、区民の環境意識の啓発や水の再利用の促進等を進める啓発事業として必要。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	7,908	8,621	25,419	29,203	13,924	15,204	12,162	
決算額（26年度は見込み）	5,567	7,990	24,856	28,906	12,661	10,631	12,162	
人件費等	8,909	5,009	11,843	15,355	12,977	15,188		
減価償却費			7,989	12,908	9,843	10,140		
【事務分担量】（%）	90	160	265	390	305	300		
合計（+ +）	14,476	12,999	44,688	57,169	35,481	35,959	12,162	
特定財源								
国								
都								
その他	1,000	58	0	0	0	37	0	
一般財源	13,476	12,941	44,688	57,169	35,481	35,922	12,162	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
エコ助成金件数	44	76	385	541	119	122		

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
一般需用費	ウォーターフェスティバル消耗品	202	需用費	ウォーターフェスティバル消耗品	114	需用費	ウォーターフェスティバル消耗品	207
役務費	半天クリーニング	0	役務費	半天クリーニング	3	役務費	半天クリーニング	6
委託料	芝生の駐車場管理委託	259	委託料	芝生の駐車場管理委託	383	委託料	芝生の駐車場管理委託	452
使用料及び賃借料	打ち水給水車賃借	0	使用料等	打ち水給水車賃借	32	使用料等	打ち水給水車賃借	37
負担金補助及び交付金	エコ助成金	12,200	負担金補助等	エコ助成金	10,099	負担金補助等	エコ助成金	11,460

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	エコ助成利用件数	541	119	122	185	200	エコ助成利用件数（平成23年度までエコジョーズ項目あり）
			-				

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ・再エネ技術の必要性を区民・事業者の理解を深めるため、普及促進のための啓発促進等を一層充実させる必要がある。 ・エコ助成金交付制度では、従来の地球温暖化防止及びヒートアイランド対策に加え、東日本大震災以降の節電対策も併せて推進する必要がある。 ・再生可能エネルギー関連技術や設備は、日進月歩で進化し、状況の変遷が速いため、つねに最新の情報を収集し、状況を踏まえた助成制度にしていくことが必要である。
	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区） エコ助成金（太陽光発電）の状況：中野・渋谷・江戸川を除く19区
他区の実況	

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	25年度の実績を踏まえ、引き続き各種媒体やセミナー等を通じたPRを図る。また、新技術に対する助成についても継続して検討する。	環境への負荷が少ない省エネルギー等をトータルで実現するため、新しい環境関連設備であるヘムス等への補助制度新設等を推進する必要がある。
	街なかメガソーラー事業について、平成26年度末に1000kwを達成させるためのエコ助成制度を含めた事業運用方法について検討する。	1000kw目標達成のため、街なかメガソーラー事業は終了する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
改善・見直し	推進	地球温暖化対策は、全地球的課題であるほか、ヒートアイランド対策は、都市部において継続的に対応すべき課題である。環境関連技術の進展に注視しながら、新たな補助項目等を検討していく。

況議 （要 質 問 状）	21年1定 荒川区の強みを活かした「低炭素社会」の構築
--------------------------	-----------------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-01-12	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	低炭素地域づくりの推進	部課名	環境清掃部環境課	課長名	泉谷	担当者名	塚野
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-10-01	低炭素地域づくり推進費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業	それ以外の継続事業			
開始年度	昭和	平成	20年度	根拠	地球温暖化対策の推進に関する法律、荒川区環境基本計画、荒川区低炭素地域づくり計画		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	地球温暖化防止のため、区民、事業者、区等が協働して、CO2削減に向けた対策の協議を行い、施策を実施し、荒川区において低炭素型地域社会の構築を目指す。						
対象者等	区民、事業者、区来訪者、区						
内容	1 荒川区低炭素地域づくり協議会の開催（全3回） （「荒川区低炭素地域づくり計画」に基づき、具体的な取り組みの検討・推進、及び計画の進捗状況の確認と見直し。【21年6月1日設立、26年6月現在委員17名】） 2 家庭向け対策 （1）省エネナビやワットメーターを貸出し（2）エコセミナー（全5回）の開催 3 事業者向け対策 東京都と連携し、省エネ研修会を開催 4 環境交通の対策 電気自動車の普及促進を目的として、急速充電器を貸出 5 協働で取り組む対策 荒川区低炭素地域づくり協議会実行委員会を立ち上げ（26年3月設立、26年6月現在委員9名）、区民・事業者・区の協働により、具体的な事業を実施。（26年度事業：（1）環境清掃フェア出展（2）ライトダウンキャンペーンの実施（3）会員交流会の開催（4）シンポジウムの開催）						
経過	20年 6月 低炭素地域づくり面的対策推進事業採択【環境省】（20年度は、ESTモデル事業協議会において受託） 21年 6月 荒川区低炭素づくり協議会設立、地球温暖化対策地域推進協議会登録名簿へ登録【環境省】 22年 2月 協議会において「あらかわ低炭素地域づくり計画」を策定 22年10月 区の行政計画として、「荒川区低炭素地域づくり計画」を策定 25年4月 荒川区低炭素地域づくり協議会会員募集開始 26年3月 荒川区低炭素地域づくり協議会実行委員会設立						
必要性	地球温暖化を防止するため、区民、事業者、区が協働し、計画的かつ継続的に具体的な行動をとらなければならない。そのために策定した低炭素地域づくり計画を、様々な主体が参加する低炭素地域づくり協議会を中心に推進していくことは、必要性が高い。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額		4,523	17,019	7,590	3,054	2,701	4,746	
決算額（26年度は見込み）		2,470	12,619	5,923	2,266	1,743	4,746	
人件費等		9,285	12,540	19,118	9,980	23,523		
減価償却費			11,911	11,196	5,421	11,323		
【事務分担量】（%）		205	205	280	168	335		
合計（+ +）	0	11,755	37,070	36,237	17,667	36,589	4,746	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	0	11,755	37,070	36,237	17,667	36,589	4,746	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	会議・協議会等開催数	10	14	2	3	2	2	
	会議・実行委員会開催数							6

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
賃金		0	委託料	環境交通イベント設営・エコセミナー	1,138	委託料	低炭素地域づくり計画中間見直し調査委託	2,920
報償費	低炭素地域づくり協議会委員謝礼	59	需用費	E V車検費用・ライトダウン消耗品	480	負担金補助等	低炭素地域づくり協議会実行委員会事業補助金	922
旅費	低炭素地域づくり協議会委員旅費	1	使用料等	交通イベント用トラック借り上げ	78	需用費	省エネナビコンテスト景品・E V点検費用	587
食糧費	低炭素地域づくり協議会賄い	4	報償費	低炭素地域づくり協議会委員謝礼	42	報償費	低炭素地域づくり協議会委員謝礼・省エネ診断報告会講師謝礼	200
一般需用費	メガソーラーちらし印刷製本	435	公課費	E V車検費用・ライトダウン消耗品車検時重量税	5	役務費	低炭素地域づくり計画見直し調査郵送料	108
役務費		0	旅費	低炭素地域づくり協議会委員旅費	1	旅費	低炭素地域づくり協議会委員旅費	9
委託料	あらかわエコセミナー	1,290	負担金補助等		0	使用料等		0

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(27年度)	
標	省エネ研修会参加者数	37	11	11	30	50	事業者向けの研修会参加者数
	荒川区低炭素地域づくり協議会会員数(人)			25	40	50	平成25年度より会員募集を開始

（問題点・課題分析）	・荒川区低炭素地域づくり協議会実行委員会の活動が自主的かつ活発に行われるよう、活動を対外的にもPRし、多くの区民や事業者に参加してもらう必要がある。また、民間資金の活用なども視野に入れて今後の事業計画等を行っていく。
	（実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区） 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定状況

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	環境に積極的にかかわる人材を増やし、そのネットワークを構築することにより、協働による事業を推進していく。	荒川区低炭素地域づくり協議会実行委員会において、区民・事業者の目線で事業の企画・運営を行う。
	事業者の実態を踏まえ、エコ協定の見直し、検討を行い、事業者の環境活動を推進する。	荒川区低炭素地域づくり協議会の会員となっている事業者との連携により事業者向けの対策を検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	低炭素型の地域社会の構築を目指して、区民・事業者・区（行政）が協働して取り組むために低炭素地域づくり計画を今後も推進する必要がある。

議（要旨）	
-------	--

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	電気・ガス・水道料金	1,887	委託料	清掃業務	3,697	委託料	清掃業務・各種保守委託	8,101
旅費			委託料	各種保守委託	3,666	需用費	光熱水費・消耗品等購入	3,237
光熱水費	環境関連図書・印刷機関連消耗品	624	需用費	光熱水費・網戸取付・消耗品等購入	3,039	役務費	ごみ処理券・電話料金・CATV視聴料	277
食糧費	ミシン等修繕	41	役務費	ごみ処理券・電話料金・CATV視聴料	191	備品購入費	小型耕運機	53
消耗品費	3階非常灯取付等	444	使用料等		0	使用料等		0
印刷製本費	電話料・受信料	95						
物品修繕費	清掃業務・各種保守委託	7,495						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	施設利用者数(人)	8,144	12,285	14,363	15,000	16,000	

問題点・課題 (指標分析)	「環境政策の拠点」として環境区民の育成を図ることを視野に入れ、費用対効果を考慮しつつ、効果的で無駄の無い運営方法の検討が必要である。 また、平成24年度から、3階展示スペース及び情報提供コーナーの運営について、区内環境団体に一部業務委託を開始している。今後は、当該環境団体と協力して、現場のニーズを的確に取り入れた展示をするなどの工夫をしていく必要がある。現在も展示工夫などを行っている状況である。
	他区の実況 (実施 13 区 未実施 9 区 不明 0 区) 中央、港、新宿、台東、墨田、江東、品川、目黒、中野、杉並、北、板橋、江戸川

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	情報コーナーの発展・充実を図り、レイアウトを見直す。	引き続き、情報コーナーの発展・充実を図り、利用者増を目指す。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	推進	区民・事業者・区（行政）が協働して環境政策を推進するための拠点となる重要な施設である。

議 会 要 旨 状	・平成22年一定 「エコセンターの今後の展望について」
-----------------------	-----------------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-01-14	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	太陽光発電設備導入推進		部課名	環境清掃部環境課	課長名	泉谷	
			担当者名	坂野	内線	482	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-98-98	太陽光発電設備導入推進費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	24年度	根拠	地球温暖化対策の推進に関する法律、荒川区環境基本計画、荒川区低炭素地域づくり計画		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	東日本大震災の影響による電力供給不足や地球温暖化等の問題に対応し、地域におけるエネルギー創出や地産地消、再生可能エネルギーの導入を推進するため、区施設での太陽光発電導入によるエネルギー創出拡大を図る。						
対象者等	区民、事業者、区						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・導入可能性のある区施設（42施設）のうち、太陽光発電システムを導入できる施設に優先順位を定め、順次導入を行う。 ・設置場所は、避難所となる施設などを優先して設置する。 ・災害等による電力供給停止時には、自立運転による小電力を非常用電源の補完用として活用する。 						
経過	22年10月 「荒川区低炭素地域づくり計画」を策定 24年 3月 荒川区街なかメガソーラー～みんなの発電所計画～事業として、区施設へ太陽光発電設備を計画的に導入していくことを決定 24年 9月 構造計算・設計委託により導入可能施設5か所のうち24年度導入施設3か所の選定(50kw) 25年 3月 荒川さつき会館(20kw)・第四中学校(20kw)・第九中学校(10kw)、3施設に合計50kWを導入[竣工] 25年 9月 構造計算・設計委託により導入可能施設3か所の調査及び選定(30kw) 25年12月 第一中学校(10kw)・第二峡田小中学校(10kw)に導入[竣工] 26年 3月 特別養護老人ホームグリーンハイム荒川(10kw)に導入[竣工]						
必要性	電力供給不足や地球温暖化対策、災害時における電力の補完用への対応から、再生可能エネルギーの導入拡大を図ることは、必要性が高い。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	-	-	-	-	66,000	58,000	0	
決算額（26年度は見込み）	-	-	-	-	59,947	51,971	0	
人件費等	-	-	-	-	5,310	2,079		
減価償却費					2,259	845		
【事務分担量】（%）					70	25		
合計（+ +）	0	0	0	0	67,516	54,895	0	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	0	0	0	0	67,516	54,895	0	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
太陽光発電設備導入施設数（か所）					3	3	0	
太陽光発電設備導入発電規模（kw）					50	30	0	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	構造計算・設計委託	3,990	委託料	構造計算・設計委託	2,520	委託料		0
工事請負費	太陽光パネル設置工事	55,957	工事請負費	太陽光パネル設置工事	49,451	工事請負費		0

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	太陽光発電設備設置の区施設数 (累計)	17	24	27	27	-	既設の区施設への設置は、平成25年度まで
	太陽光発電設備導入量(区施設計)	214	307	337	337	-	平成26年度迄に区民設置と合わせ1,000kw(㏗)の発電量を目指す
	街なかメガソーラ(累計)	-	507	720	1,001	-	

問題点・課題 (指標分析)	・平成27年度以降の太陽光発電設備の導入を始めとする再生可能エネルギーについては、既設の区施設の 外、新規建設施設への導入推進の検討を行う必要がある。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 区施設への太陽光発電システム導入状況

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
区民に助成しながら、太陽光発電設備の導入推進を図り、街なかメガソーラーを達成していく。	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	休止・完了	太陽光発電設備は一定の区施設に設置できたので、導入事業としては完了とする。今後は各施設所管課での導入を促進していく。

議 会 要 質 問 状	23年2定	区施設、他の公的機関、民間事業者関係施設などに太陽光発電システムの導入を働きかけるとともに、建設予定施設も自然エネルギーの導入などを求める。
	24年1定	再生可能エネルギー活用目標を設定し、あわせて自然エネルギーを活用したPPS事業者育成を研究すること。

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-22	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	環境配慮型街路灯（LED灯）整備事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	川原	担当者名	深作
				内線	2736		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-05-01	環境配慮型街路灯（LED灯）整備費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	22年度	根拠法令等	荒川区環境基本計画		
終期設定	有	無	31年度				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市					
	政策	07	地球環境を守るまちの実現				
	施策	07-01	環境配慮活動の推進				
目的	街路灯に使用している水銀灯を環境配慮型の発光ダイオード（LED）灯に置き換えることにより、街路灯の点灯による消費電力量及び温室効果ガス（CO ₂ ）排出量を削減する。						
対象者等	荒川区が管理する区道を利用する区民、歩行者及び車両等						
内容	電柱共架及び小型単独柱による水銀灯（80W及び100W）を発光ダイオード（LED）灯（30W相当）に置き換える。 ・削減量（100基当り）：消費電力量36,400 kWh/年、温室効果ガス20 t・CO ₂ /年、（10世帯分相当）						
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度 LED照明試験設置 ・平成21年度 環境配慮型街路灯整備計画策定（平成22年2月25日土木部長決定） ・平成25年度までの整備数...577基 （街路灯維持費、街路灯新設改修費、日暮里中央通り整備費分含む） ・平成26年度整備予定数：工事による整備...61基 （うち31基は都市再生整備計画事業【国補助】） リースによる整備...約1,500基 						
必要性	水銀灯から環境配慮型のLED灯に替えていくことは、電気使用量及びCO ₂ 排出量を削減するものであり、区財政の健全化及び環境先進都市の推進に寄与するものである。						
実施方法	（3委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 環境配慮型街路灯LED整備工事（3件） ¥18,122,422 64基						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額		-	-	29,906	21,934	31,983	19,120
決算額（26年度は見込み）		-	-	23,140	21,864	28,822	18,122	25,020
人件費等		-	-	2,616	4,654	4,130	3,327	
減価償却費				872	1,866	1,613	1,352	
【事務分担当】（%）		-	-	30	60	50	40	
合計（+ +）		0	0	26,628	28,384	34,565	22,801	25,020
特定財源の推移	国					4,084	1,909	3,118
	都							
	その他							
	一般財源	0	0	26,628	28,384	30,481	20,892	21,902
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	水銀灯からLED灯への置換え数	4	75	113	113	156	98	1558 （予定）

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	環境配慮型街路灯(LED灯)整備費	28,822	工事請負費	環境配慮型街路灯(LED)整備工事	18,122	工事請負費	環境配慮型街路灯(LED)整備工事	22,089
						使用料等	街路灯リース(第一期)	2,828
						委託料	材料単価調査	103

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	水銀灯からLED灯への置換え数	113	156	98	1558	1579	合計(H20～25年度)計 577基
	老朽化した水銀灯数	2245	2200	1963	1341	611	単位：灯 S54年度以前に設置
	街路灯総電力使用量	26965	26628	26416	23051	19640	単位：kWh 1日当たり

問題点・課題 (指標分析)	・東日本大震災の影響により、東京電力(株)の電力供給量が低下しているため、街路灯で使用している電力使用量を削減する必要がある。そのため、街路灯の光源を現在の水銀灯から環境にやさしく消費電力の少ない発光ダイオード灯(LED灯)に交換していく。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
既存の水銀灯をLED灯に置き換えていくことによって街路灯の電力使用量の更なる削減を図っていく。	既存水銀灯をLED灯に置き換えていくことによって街路灯の使用電力量の更なる削減を図っていく。
リース方式を導入し、LED灯への早期の置き換えを図っていくことによって、電力使用量の削減を加速していく。	継続してリース方式によるLED灯への置き換えを進めていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
改善・見直し	重点的に推進	リース契約による形式を採用することにより、LEDへの置き換えを早期に進める。

議事要旨 (要旨)	H21一定 ・街路灯の整備事業においては、(仮称)荒川区街路灯整備計画を立て、早急にLED照明を導入し、環境に配慮した明るい荒川区のまちづくりを進めることを要望する。 ・電気料金や平均寿命及び温室効果ガスの削減にメリットがあるLED照明を早急に導入すべきである。
--------------	---